



竹田陽一の独立起業物語

【マル秘メルマガ】より

5通目

ランチェスターの本格的な研究

◆10. 原書の翻訳後本格的な研究を始める

そのあと初めに説明したように、フレッチャー氏の好意によりランチェスター法則の原書と伝記の本の2冊が手に入りました。

その翻訳が終わったあと、田岡先生のマネでなく、自分独自の考えによるものを開発するため、ランチェスター法則の研究に本格的に取りかかりました。

研究する前に決めたことは、まず田岡先生の本を読むとついマネしたくなるので、当分の間田岡先生の本は読まないことにしました。

そのあと、経営には基本となる原則があり、その基本となる原則にランチェスター法則を応用するのであるから経営の原則を正しく理解すべきだ、ということに気付いたのです。

経営の基本原則と言えば天才コンサルタントの、ピーター・ドラッカー先生です。

そこですぐドラッカー先生の本を何冊もアナウンサーに録音してもらいました。

ドラッカー先生の文章は難しい上に哲学的なものが多いために、15回や20回聞いたぐらいではとても理解できないので、新幹線や飛行機で移動中に何回も聞きました。

説明の内容に気を取られ、降りる駅に気付かず、講演に遅れたことは2～3度ありました。

そうしているうちに、ランチェスター法則を経営戦略に応用することがうまくいかなかったのは、実は経営の基本原則をきちんと理解してない、ということが解りました。

それと経営全体の実行計画を立てるときに欠かせない『戦略と戦術』の区別がつかず、ひどく混乱していることにも気付きました。

経営の基本原則はドラッカー先生の本を7冊朗読してもらったのを何回も聞いたことで、どうにか理解することができました。

もう1つの戦略と戦術の区別は長女の友子が「そのような難しいものはたいがいギリシャに語源があるので、私が辞書を引いてやろう」と言って、ぶ厚い辞書を引いてくれました。

戦略の語源はギリシャの「ストラテジア」で、直訳すると将軍の術になる。そして将軍の主な役目にはこういうものがあると、いくつか読み上げました。

次に戦術の語源はギリシャの「タクティコース」で、もともとは掃除を専門にする人をこう呼んでいたが、兵士が訓練をするときの仕草が掃除を専門にする人とよく似ているので、いつの間にか兵士のこともタクティコースと呼ぶようになった。

直訳は兵士の術になる、と言ったのです。

これで、実行計画を立てるときや、役割分担を決めるときに欠かせない『戦略と戦術』の区別が一気につくようになりました。

これらによって、田岡先生の講演を聞いてから15年後に、ようやく私自身のランチェスター戦略ができ上がりました。

こうして34歳のときに講演を始めて以来4,000回の講演をすることができたばかりか17冊の本も出版でき、累計の販売数は52万冊になりました。

アメリカの思想家エマーソンは、困難や苦勞にはそれ同等かそれ以上に価値がある良い種が隠されていると言いました。

中国にも同じような諺があります。

本を出したことで会社をクビになりかけたのは、私にとっては大きな試練でしたが、それによって経営戦略の研究に本気で取り組めたので、実力がつきました。

田岡先生が亡くなったことでF C化は実現しなかったものの、ランチェスター先生の墓参りに行って本気でランチェスター法則を研究したことで自分独自のものが完成しました。

ランチェスター先生の墓を探すのにとても苦勞しましたが、それによってランチェスター法則の原書と伝記の本の2冊が手に入り、翻訳したことで法則の研究が一気に進みました。

あなたが今どのような境遇にあるか私にはよく知りませんが、もし困難に直面していてひどく苦勞しているなら、それから逃げたり要領良く片付けようとししないで下さい。

たとえ少しぐらい損が出て、正直に、かつ本気で立ち向かわれることをすすめます。

そのあと、あなたの身の上にとずっと予想もしてなかった良いことがあなたに起こるはずですよ。

(完)

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院 301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>